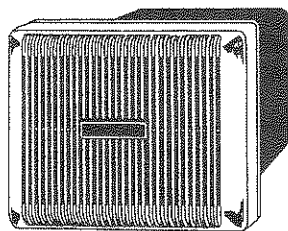


換気扇 〈浴室用耐湿型〉

取扱説明書

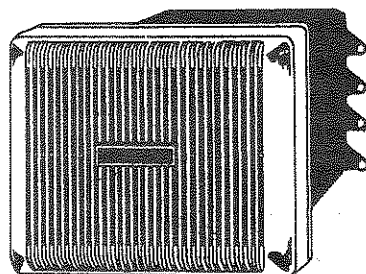
06.01.A

- ◎ウェザーカバー（15型）は必ず取付けてください。
雨水の流れ込みを防ぎます。
- ◎接地工事は機体のアース線（緑色）に接続して下さい。



同時吸排式耐湿型

12cm型



シャッター式耐湿型

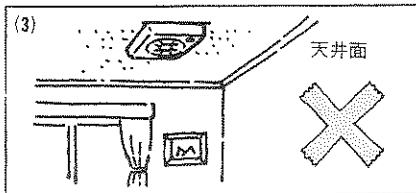
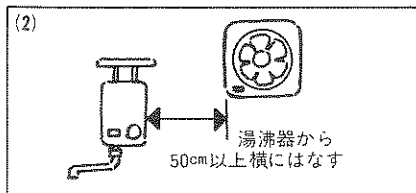
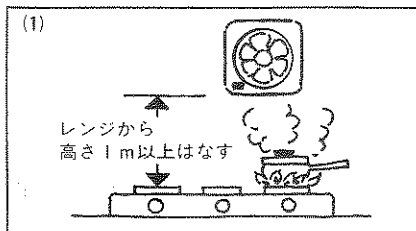
15cm型

- このたびは換気扇をお買上げいただきまして誠にありがとうございました。お求めの換気扇を正しく使っていただくために、この取扱説明書をよくお読みください。
- お読みになった後も、必ず保存してください。

次のことは必ず守ってください。

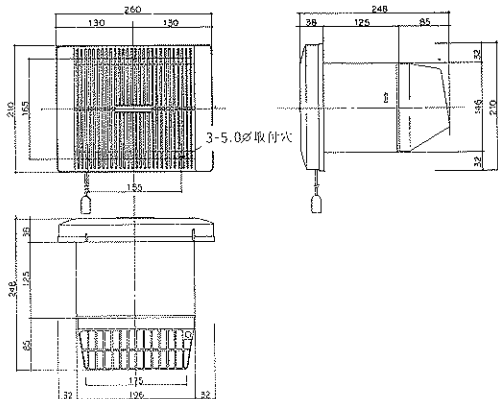
取付けのご注意

- ①換気扇付近の温度が、40℃以上になる場所には取付けないでください(1)~(2)
 - 40℃を越える環境の中で長時間使用しますと、モーター、スイッチなどの電気部品が劣化しやすくなったり軸受けの焼付きの原因になりますので充分ご注意ください。
 - レンジから1 m以上離れた高所に取付けてください。直接炎があたると燃える恐れがあります。
 - ガス湯沸器の真上やその付近は、高温になりますので横に50cm以上離して取付けてください。
- ②浴室など湿気の多い場所に取付ける場合は必ず接地工事を行ってください(アース線緑色)
- ③天上面には取付けないでください(3)
 - カバーが外れたり、モーターに悪影響を及ぼします。
- ④コンクリートなどの壁孔に直接、本体を取付けないでください
 - 木ネジなどがきかず取付けが不充分となり、本体が落下する恐れがあります。
- ⑤電源は必ず正しく配線された単相100ボルトの専用コンセントを使ってください
- ⑥一般の方は換気扇の修理改造はしないでください

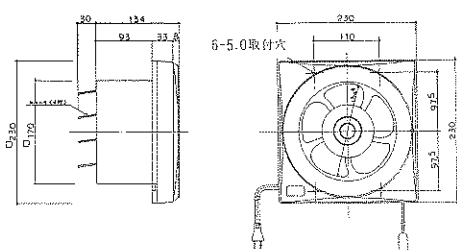


各部の寸法図

12 cm 型



15 cm 型



取付け方法

●効率よく換気するために、天井近くの壁に取付けます。(4)

(1)木枠を次の寸法で用意します。

15cm型：内のり **18×18cm**
 12cm型：内のり **15×20cm** (板の厚さ：約2cm)

(2)木枠の外形にあわせて壁に孔をあけ、木枠を確実に取付けてください。

(3)キャップを“ゆるむ”の方向にまわして外し、換気扇本体から羽根を抜いてください。(15cm型)

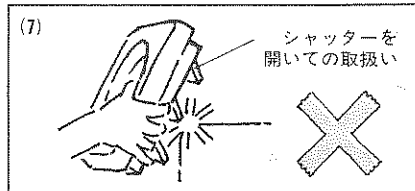
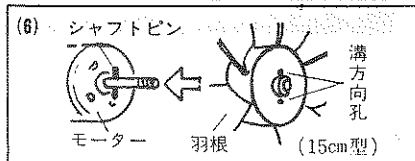
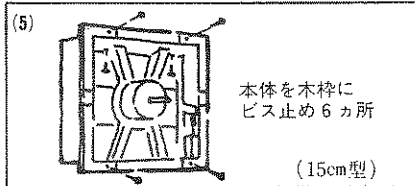
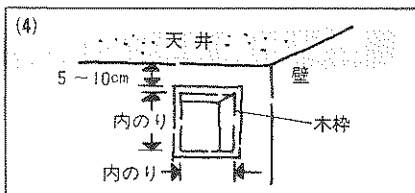
(4)パネルの裏縁を手前にひっぱるようにして外したあとと本体を木枠にはめ込みます。取付けネジ4個でガタつかないように確実に締付けてください。(5)

(5)パネルを本体に確実にはめ込みます。

(6)羽根をモーターのシャフトに差込み、羽根の溝とシャフトピンが合う位置で確実におし込みます。途中ですとキャップのしまりが悪くそのまま回転させると羽根とキャップが作動中に外れる恐れがあります。(6)

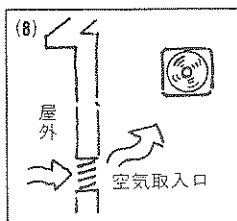
(7)キャップを“しまる”の方向にまわして締付けます。(15cm型)

●本体のシャッターは閉じた状態で取付けてください。シャッターを開いたまま、物にあてたりすると故障の原因となる場合があります。(7)



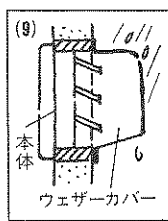
<空気取入口について>

換気効果を高めるため、換気扇と反対側の壁などに空気取入口を設けるか、窓があれば少し開けてください。※汚れた空気を排気するには新鮮な空気を入れる必要があります。(8)



<ウェザーカバーについて>

換気扇取付け位置の外側に直接風雨が当たる場合は、風雨よけにウェザーカバー(別売品)を取付けてください。(9)



性能

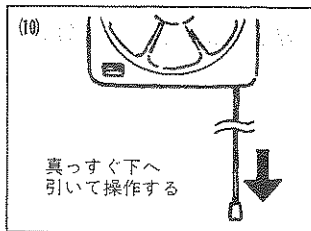
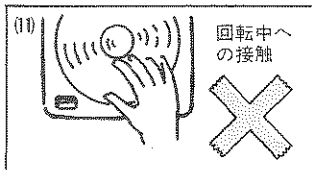
型式	周波数 Hz	消費電力 W	風量 m³/H	騒音 ホン	木枠寸法 内のり
15型	50/60	13/14	240/240	40/36	クテ ヨコ 180×180
12型	50/60	17/19	130/130	42/42	クテ ヨコ 150×200

使いかた

- 引きひもを下にゆっくり確実に引いてください。斜めに引張ったり必要以上に強く引いたりすると、シャッターが開かなかったり、スイッチが故障することがあります。(10)

<ご注意>

羽根の回転中は危険ですから、その中へ指やものを絶対に入れないでください。(11)



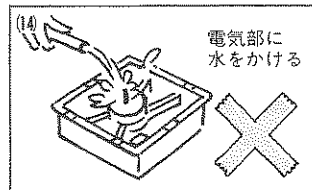
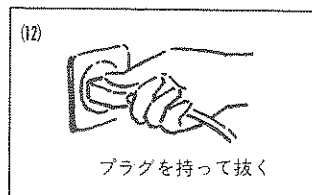
手入れ方法

<お手入れ前のご注意>

- あまり汚れないうちに(3ヵ月ごとに)掃除をしてください。
- お手入れをする前には、必ず差込みプラグをコンセントから抜きとってください。その際、正しくプラグ部をもって抜いてください。(12)
- プラスチック部分の掃除には、シンナー・ガソリン・ベンジン・灯油などは使用しないでください。(13)
- モーター、スイッチなど電気部品個所の掃除には、絶対に水をかけたりしないでください。(14)

<お手入れの順序>

- ①キャップ・羽根・パネルを本体から外し(取付け方法：③～⑦参照)洗剤を溶かしたぬるま湯(40℃くらい)に浸し、布やスポンジで汚れを落としてください。
- ②本体やシャッター部の汚れがひどいときは、洗剤を含ませた布を水垂れしない程度にしぼり、拭きとります。洗剤が残らないよう水拭きも充分おこなってください。
- ③外した部品を逆の順序で確実に組立てた後、正常に作動するか確かめてください。



保証書・修理サービス

- ①保証書はお買上げ販売店から受取り、保証期間・販売店などの記入がない場合は、販売店にそれらの記入をお申しつてください。
- ②修理に出すときは、保証書が必要ですから大切に保管ください。
- ③使用中に異常が生じたときは、差込みプラグを抜いて停止し、お買上げ販売店に保証書をご提示の上、ご相談ください。その際、換気扇の形名やお買上げ時期をお忘れなくお知らせください。
- ④正常な使用状態で、期間内に万一故障を生じた場合には、保証書記載事項にもとづきお買上げ販売店で「無償修理」いたします。
- ⑤この製品の補修用性能部品の最低保有期間は、製造打切り後6年です。